

高校生を対象とした 公開授業科目（第1学期）シラバス －平成25年度版－



「シラバス」とは・・・

各授業科目の詳細な授業計画のことです。一般に、授業名、担当教員名、講義目的、各回ごとの授業内容などが記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。大学ではよく使用される言葉ですので、覚えておきましょう。

【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ

〒760-8582 高松市天神前6-1

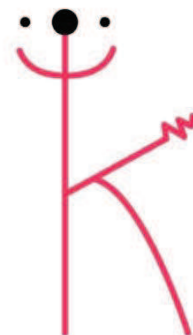
TEL 087-832-3750、FAX 087-806-0232

香川大学教育・学生支援室学務グループ

〒760-8521 高松市幸町1-1

TEL 087-832-1147、FAX 087-832-1155

（注）授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで。



【公開授業科目(第1学期)】

授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
英語で学ぶ科学技術	教養教育	澤田 秀之 (工学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	木	16:20～17:50	1
食品の機能性と安全性	教養教育	小川 雅廣 川村 理 (農学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	木	16:20～17:50	2
瀬戸内地域活性化政策	教養教育	牛島 授公 (地域マネジメント研究科)	4月11日～7月25日 (計15回)	木	16:20～17:50	3
政治学「日本の政治」(夜間主コース)	教養教育	大賀 睦夫 (経済学部)	6月11日～7月30日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10	4
歌唱法基礎A	専門教育	若井 健司 (教育学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	木	16:20～17:50	5
工芸ⅠA 及び 工芸ⅠB (※ 年間通じて両科目受講が必須)	専門教育	倉石 文雄 (教育学部)	4月12日～7月26日 10月4日～1月31日 (計30回)	金	16:20～17:50	6～7
政治学入門	専門教育	金子 太郎 (法学部)	4月12日～7月26日 (計15回)	金	16:20～17:50	8
法学入門(夜間主コース)	専門教育	佐川 友佳子 (法学部)	6月13日～8月1日	木	18:00～19:30 19:40～21:10	9
政治学原論	専門教育	大賀 睦夫 (経済学部)	4月12日～7月26日 (計15回)	金	16:20～17:50	10
経済数学	専門教育	ラナデ (経済学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	木	16:20～17:50	11
会計学(夜間主コース)	専門教育	朴 恩芝 (経済学部)	4月9日～6月4日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10	12

(注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「**教養教育(全学共通科目)**」と、専門職業人を養成するための「**専門教育(学部開設科目)**」によって構成されています。
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。

(注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。

詳細は、13～14ページの「平成25年度行事予定表」をご参照ください。

(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)

大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。
高校の授業の見方も変わってくるはず！

大学生との交流も良い刺激になるよ！



【第2学期の公開授業(予定)】

- ・ 日本近代文学史(専門/教育学部)
- ・ 政治思想史(専門/法学部)
- ・ 経済学入門A・B(専門/経済学部) 等々

このほか、教養教育も充実してます！

また、夏の数日だけで行う「体験授業」もあります。
追って募集しますので、しばらくお待ちください。

授業科目名 英語で学ぶ科学技術 Learning Science and technology in English	時間割 4月11日(木)～ 7月25日(木)
担当教員名 澤田 秀之(工学部)	毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習90分 × 15回	
授業の概要 諸君らは、携帯電話やPC、モバイル情報端末などを利用して日常的にインターネットにアクセスし、様々な情報を得ている世代であろう。これによって得られる情報は日本語によるものが主であろうが、世界中のコンピュータを繋いでいるインターネットにおいては、英語が最も多く使われており、世界の標準言語といえる。また同様に、科学技術も万国共通のものであり、将来サイエンス研究や技術開発に携わったり、あるいはこれらの最新の成果を享受するには、積極的に英語に触れ、英語を自在に使える能力が不可欠である。 本講義では、まず科学や技術に関する英語記事や英語論文を読みこなすためのテクニックを学び、英語に臆することなく積極的に内容を理解する力を身につける。次に、実際の記事や論文を読み解き、新しい科学の知見や技術の成果について皆で議論していく。また、自身の興味のあるテーマについて英語で論述し、最後に英語でプレゼンテーションをおこなう。	
授業の目的 科学技術は万国共通のものであり、諸君らが将来、研究や技術開発に携わるためには、若い頃から積極的に英語に触れ、英語を自在に使える能力を身につけることが不可欠である。本講義では、英語をサイエンティストやエンジニアのコミュニケーションツールの一つと捉え、英字新聞や記事、論文を題材として、英語を通して科学技術を学ぶことを目的とする。同時に、自分の考えや研究成果を積極的に世界に向けて発信できるコミュニケーションスキルや、外国人と英語で議論できる力を身につける。	
到達目標 1. 国際化の現状を理解し、国際人、国際的エンジニアとして活躍できる基礎力を身につける。 2. 日本社会や日本の産業構造の問題を理解し、国際化によってどう変革できるかを考える。 3. 自分の考えや研究成果を世界に向けて発信できるコミュニケーションスキルを獲得する。 4. 最先端の科学技術を、英語新聞や雑誌、論文から積極的に見つけ出して読み解き、外国人と英語で議論できる力を身につける。 5. 日本の国際化を通して、日本と日本人の良さ、強みについて考える。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回: オリエンテーション(授業の目的、進め方の説明、教材・資料の配付) 第2回: 英語の基礎文法 第3回: 英語の効果的な学習方法 第4～5回: 科学や技術に関する英語記事や英語論文を読みこなすためのテクニック 第6～7回: 科学技術記事を読み解く 第8～9回: 科学技術記事の読解と議論 第10回: 効果的な英語プレゼンテーションとテクニック 第11～12回: 科学技術テーマの選定と英語論述 第13～14回: 英語によるプレゼンテーション 第15回: まとめ	
教科書・参考書等 講義で使用する教材、資料などは、事前に配布・通知する。 日常から英字新聞、英語書籍、英語雑誌、科学技術記事を読み、英語力を向上させるよう継続的に努力して欲しい。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 英語記事や資料は事前に配布するので、必ず自力で読み解き、講義では記述内容の理解を深めること。予習をしないで講義に出席することは、一切認めない。 講義途中であっても質問は受け付ける。積極的な姿勢で臨んで欲しい。	

授業科目名 食品の機能性と安全性 Food Functionality and Safety	時間割 4月11日(木)～ 7月25日(木)
担当教員名 小川 雅廣, 川村 理(農学部)	毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回(中間試験を含む)+自学自習	
授業の概要 (第1部:小川)食品には栄養素を補給して生命を維持する機能、おいしさを感じさせ満足感を与える機能、疾病を防止する機能などがある。本講義では、具体的な食品を例に挙げて、それら食品の機能について考える機会を提供する。(第2部:川村)科学的リスク評価方法について解説し、食品添加物、残留農薬と放射性物質についてリスクとベネフィットの観点から講義する。これらから食に関するメディア・リテラシーについて考える機会を提供する。	
授業の目的 食品はただ単に栄養を補給するだけのものではなく、満足感を与えたり病気の予防をする機能があることを理解し、日頃食べている食品の機能性について科学的・客観的に判断・評価できるセンスを身に付ける。また、科学的な食品のリスク評価及びリスクとベネフィットの観点を理解し、食品のメディア・リテラシーに関する素養を身に付ける。	
到達目標	
1. 日常食べている食品の主要な成分を化学的に説明できる。 2. 日常食べている食品の機能性を科学的・客観的に説明できる。 3. リスクとは何かを理解し、リスクとベネフィットの観点で総合的に評価ができる。 4. 食品添加物、残留農薬と放射性物質の基本的概要を科学的・客観的に説明できる。 5. 食品のメディア・リテラシーの必要性を理解し、説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
[授業の方法] 講義形式とし、主に液晶プロジェクターとプリントを使用する。 [授業計画] 第1週 ガイダンス、授業概要、大学生に求められていることなど(小川、川村) 第2週 日本の食の現状(小川) 第3週 食品の栄養機能(小川) 第4週 食品の嗜好特性(機能)(小川) 第5週 うまい肉、うまい魚(小川) 第6週 食品の健康機能(小川) 第7週 オリーブと希少糖(小川) 第8週 中間試験 第9週 グループワーク 食の安全を脅かす因子、原因とその対策(川村) 第10週 リスクの基本的考え方、毒性試験法(川村) 第11週 リスク&ベネフィット、最近の事件をリスク評価してみると(川村) 第12週 食品添加物 総論と各論(川村) 第13週 残留農薬 総論(農薬とは何か?なぜ必要か?選択毒性など)と各論 第14週 放射性物質の食品汚染のリスク評価(川村) 第15週 総合的なリスク評価の必要性 科学を無視した食品の安全・安心(川村) [自学自習に関するアドバイス] 第1週 大学生活について自分なりの方向性について考える。 第2週 食料自給率とフード・マイレージについて、農林水産省の公開情報等で事前に調べておくこと。 第3週 五大栄養素の働きと役割について、生化学や栄養学の書籍等で学習しておくこと。 第4～5週 ステーキ肉や刺身のおいしさの正体について事前に考えて整理しておくこと。 第6～7週 香川県の特産品(特にオリーブやハマチ)について事前に調べておくこと。 第9週 グループワーク 食の安全を脅かす因子、原因とその対策について考えて講義に望むこと。 第10週 リスクの基本的考え方、毒性試験法について予習・復習をして理解すること。 第11週 リスク&ベネフィットについて理解し、科学的リスク評価と自分の考えの違いについて理解を深めること。 第12～13週 食品添加物と農薬のリスク&ベネフィットについて予習・復習をして理解すること。 第14～15週 放射性物質の食品汚染のリスク評価を理解して上で、総合的なリスク評価の観点から、日本での今後の原子力発電のあり方について考え、自分の意見をまとめること。	
教科書・参考書等 教科書は、指定しない。また、参考書は、必要に応じて適宜紹介する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 初回到履修に関する説明・注意を行います。	

授業科目名 瀬戸内地域活性化政策 Setouchi regional vitalization policy	時間割 4月11日(木)～ 7月25日(木)
担当教員名 牛島 授公(地域マネジメント研究科)	毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習	
授業の概要 2013年は瀬戸内国際芸術祭が行われ、国内外から多くの方々が香川県を訪れることとなります。この授業では、瀬戸内地域の様々な活性化策に取り組む「瀬戸内地域活性化プロジェクト」(香川大学瀬戸内国際芸術祭関連プロジェクト)について具体的な企画を行っていくことなどを通じて、地域活性化策の進め方について考える機会を提供します。	
授業の目的 瀬戸内地域の活性化について具体的なプロジェクトを通じて考えていくことで、地域活性化を進める方策を検討するための考察力を身につける。また、地域活性化政策の推進に関する行財政制度などの基本的な仕組みや、県内外の地域活性化に関する事例について学ぶ。	
到達目標	
1. 瀬戸内地域の活性化に関する課題と対応する政策の考え方について述べることができる。 2. 身近な地域における地域活性化策の検討の仕方について述べることができる。 3. 地域活性化の取り組み方について、様々な事例を挙げて説明することができる。 4. 地域政策の推進に関する行財政制度などの基本的な仕組みを説明することができる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
【授業の方法】 まず、第1～2回で、授業で取り上げる「瀬戸内地域活性化プロジェクト」等の活性化政策について概説します。次に、第3～12回で、「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の事業の企画等を通じて地域活性化策の検討を行いながら、地域活性化政策の推進手法について学びます。また、地域資源を活用した産業振興、観光振興等、様々な政策課題に対する県内・県外の地域での取り組みについて検証し、地域活性化政策の推進手法について学びます。さらに、地方分権の動きや国と地方の財政制度、自治体の予算編成などの財政運営について学びます。(「瀬戸内地域活性化プロジェクト」については、グループに分かれた検討も行います。)第13～14回で、グループでの検討結果を発表して意見交換します。また、「地域活動」の「瀬戸内地域活性化プロジェクト」と連動して、実際に瀬戸内の島などに行って活性化策を考える地域実践活動(自由参加)を行う機会を設けます。 【授業計画】 第1～2回:「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の概説 第3～12回:「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の検討、地域活性化手法の事例検証等 (1)「瀬戸内地域活性化プロジェクト」 ①瀬戸内国際芸術祭・栗島の活性化プロジェクト ②瀬戸内クルーズプロジェクト ③高松の街活性化プロジェクト ④ショートストーリー瀬戸内映画プロジェクト ⑤金毘羅観光活性化プロジェクト ⑥恋人の聖地宇津プロジェクト ⑦東かがわ定住プロジェクト ⑧香川情報発信プロジェクト (2)地域活性化手法の事例検証 ①地域産業振興政策 ②観光振興政策 等 (3)自治体の行財政制度 ①地方分権 ②財政制度と財政運営 第13～14回:地域活性化政策のグループ発表・意見交換 第15回:まとめ 【自学自習に関するアドバイス】 2013瀬戸内国際芸術祭関連などの地域活性化の取組について関心を持って臨んでください。	
教科書・参考書等 講義でプリントを配布します。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 2013瀬戸芸に関わって地域活性化を考えたい方はぜひ履修してください。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。	

授業科目名 政治学 「日本の政治」 （夜間主コース） Japanese Politics	時間割 6月11日（火）～ 7月30日（火） 毎週火曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分 (1日2回、計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階（15ページ参照）にお越しください。
担当教員名 大賀 陸夫 （経済学部）	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習	
授業の概要 現代日本政治の概要を学びます。具体的には、日本をとりまく国際環境、日本の政治の伝統、政党、官僚制、利益集団、選挙、日本の政治の問題点、政治改革などの諸テーマを扱います。	
授業の目的 いろいろな政治学があります。職業政治家のための政治学、学会発表向けの政治学、市民のための政治学などです。ここでは市民のための政治学をめざします。われわれは単なる政治の観察者ではありません。日本の政治の主人公です。日本の政治の歴史や課題を学び、よりよい日本を実現していくために何ができるのか考えてみましょう。	
到達目標	
1. 政治に無関心な人間ではなくなる。 2. 日本の政治の概要を知っている。 3. 現代日本の政治の問題点を知っている。 4. 市民として自分に何ができるのか語ることができる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回 導入 第2回 国際環境 第3回 政治的伝統 第4回 政治文化 第5回 政党1 自民党 第6回 政党2 その他の政党 第7回 官僚制 第8回 行きづまる中央集権体制 第9回 利益集団 第10回 選挙 第11回 政治改革1 改革知事 第12回 政治改革2 先進自治体 第13回 市民運動 第14回 地方分権 第15回 まとめ 毎回、授業に関連した宿題を出すので、本や雑誌論文を参考にしてレポートを書くことになります。	
教科書・参考書等 教科書は使用しない。毎回、プリントを配布する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 日頃、新聞やテレビの報道番組に親しむことをお勧めします。	

授業科目名 歌唱法基礎 A Fundamentals of Vocal A	時間割 4月11日(木)～ 7月25日(木)
担当教員名 若井 健司(教育学部)	毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
授業の概要 歌唱指導に必要な正しい発声の基礎を理解し、各自の自然な声を見い出させるために、声を使った多種多様な表現を実践する。日本語の発音を再認識し、美しい母音が必要な基礎的イタリア歌曲を中心に歌唱体験を進めていく。 さらに教材として、身近な郷土に伝わる日本民謡・わらべうた等を取り上げ、日本古来の旋法になじませながら、その歌唱表現についての実践研究を行う。	
授業の目的 ①初等教育に必要な声を使った表現、歌唱指導に必要な基礎的発声・歌唱技術を習得する。 ②身近な環境から生まれ、伝わってきた日本古来からの歌を再認識し、伝統的な音楽の歌唱表現を学ぶ。 ③言葉による表現を多彩に使用できるようにし、声を使ったコミュニケーション術を学ぶ。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
実技練習を加えた演習形式 (1) オリエンテーション (2) 言葉と音楽の結合① (3) 言葉と音楽の結合② (4) 呼吸法① (5) 呼吸法② (6) 朗読劇① (7) 朗読劇② (8) 朗読劇③ (9) 歌唱の実践① (10) 歌唱の実践② (11) 歌唱の実践③ (12) イタリア歌曲の実践① (13) イタリア歌曲の実践② (14) イタリア歌曲の実践③ (15) 授業のまとめ	
教科書・参考書等 テキストをこちらで用意します。 参考書は必要に応じて、指示する。	

授業科目名 工芸 I A Craft I A ※ 年間通じて「工芸 I B」と両方受講することを条件とします。	時間割 4月12日(金)～ 7月26日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分 (計15回)
担当教員名 倉石 文雄 (教育学部)	※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義30分・実技60分×15回＋自学自習	
授業の概要 木材工芸の基礎的な内容を、椅子制作または箱制作を通して行う。木材の特性・加工法・道具の使い方など木材工芸の基礎力を養う。	
授業の目的 学生は、木材工芸の基礎的な力量、つまり、素材の特徴・基礎的な道具の使い方と手入れ等の基礎を修得する。特に図画工作の工芸の内容については、木材工芸が主流であることを念頭に置く。	
到達目標	
1. 木材の特徴や加工技法を修得ことが出来る 2. 木材の加工道具の基礎的な使い方を修得できる 3. 木材の塗装の目的意義について修得することが出来る 4. 木材の塗装技法の基礎を修得することが出来る	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
講義・実技実習 (1) ガイダンス (2) 木材工芸基礎演習2概説 (3) 椅子設計 (特に接合部分の方法について) (4) 椅子設計2 (5) 木材加工実習1 (6) 木材加工実習2 (7) 接合加工実習 (8) 木材加工実習3 (9) 木材加工実習4 (10) 木材加工実習5 (11) 木材加工実習6 (12) 木材加工実習 (13) 塗装実習 (14) 塗装実習2 (磨き、重ね塗り、仕上げについて) (15) 鑑賞	
教科書・参考書等 倉石制作テキスト	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 初回ガイダンスにて周知	

授業科目名 工芸 I B Craft I B ※ 年間通じて『工芸 I A』と両方受講することを条件とします。 担当教員名 倉石 文雄 (教育学部)	時間割 10月 4日(金) ～ 1月31日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義20分・実技70分×15回+自学自習	
授業の概要 木材工芸の基礎的な内容を、椅子制作を通して行う。木材の特性・加工法・道具の使い方など木材工芸の基礎力を養う。また、進行状況によって陶芸、染色など木材工芸以外の分野も行うことがある。	
授業の目的 木材工芸の基礎的な力量、つまり、素材の特徴・基礎的な道具の使い方と手入れ等の基礎を修得する。また進行状況によって陶芸、染色などの木材工芸以外の分野の代表的な分野の内容を実施することがあり、工芸分野において広く学習することを目的としている。	
到達目標	
1. 工芸分野における木材の特徴など知ることができる。 2. 木材の加工法の基礎を学ぶことができる 3. 木材加工の道具の基礎的な知識と取り扱い法を学ぶことができる。 4. 工芸分野の全体概要を知ることができる	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
講義・実技実習 (1) ガイダンス (2) 木材工芸基礎演習2概説 (3) 椅子設計 (特に接合部分の方法について) (4) 椅子設計2 (5) 木材加工実習1 (6) 木材加工実習2 (7) 接合加工実習 (8) 木材加工実習3 (9) 木材加工実習4 (10) 木材加工実習5 (11) 木材加工実習6 (12) 木材加工実習 (13) 塗装実習 (14) 塗装実習2 (磨き、重ね塗り、仕上げについて) (15) 鑑賞	
教科書・参考書等 倉石制作テキスト	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 初回ガイダンスにて周知	

授業科目名 政治学入門	時間割 4月12日（金）～ 7月26日（金）
担当教員名 金子 太郎（法学部）	毎週金曜日 16時20分～17時50分 （計15回） ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階（15ページ参照）にお越しください。
学習時間 講義90分×15回＋自学自習（相当の読書量を必要とする）	
授業の概要 現在の日本では様々な自由（信教の自由、思想・信条の自由、報道の自由などなど）が認められていて、不正なく普通選挙が行われています。この2つの条件を満たしている国を「自由民主主義（リベラル・デモクラシー）」の国と言います。また、現在の日本は経済活動においては市場経済を基本に経済運営を行っている資本主義体制の国です。自由民主主義や資本主義は皆さんにとっては空気のように「あって当たり前のもの」かもしれませんが、歴史的、地理的な広がりを持って世界史を見てみると、全然そうではありません。どういう歴史的経緯で人類がこれらの政治制度、経済体制を持つようになったかを知ることは非常に重要です。 この講義では、近代市民革命（イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命）の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。 同時に地理的にも広く現在の世界を見てみましょう。世界には自由民主主義、資本主義の国はどれくらいあるでしょう？意外と少ないことに気がつくはずです。 皆さんが歴史的かつ地理的に視野を広げて政治、経済、歴史、国際政治の問題を考察する視野を持てるようになることがこの講義の目標です。 そういう視野を持って、現在の日本が直面している問題も考えてみましょう。	
授業の目的 ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題を考察できるようになること。 ②読書の面白さを感じて欲しい。	
到達目標 ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回 近代以前の統治（強者の支配）と近代市民革命 第2回 19世紀 自由主義 第3回 19世紀 資本主義経済の発展、帝国主義、社会主義、共産主義、ナショナリズム 第4回 つづき 第5回 つづき 第6回 20世紀 戦争と革命の世紀 第7回 つづき 第8回 冷戦 第9回 つづき 第10回 社会主義の行き詰まり、共産主義の破綻、市場経済の再発見 第11回 つづき 第12回 日本の政治・経済 第13回 つづき 第14回 つづき 第15回 まとめ 講義中にかなりの数の課題図書を指定するので、読んで欲しい。大学の勉強は「講義を聴いて試験でそれを答案に書けばいい」という受動的なものだけではない。自ら読書をする習慣を大学1年生の前期から身に付けて欲しい。また、読書が結構面白いものだと感じて欲しい。	
教科書・参考書等 参考書として『はじめて出会う政治学』『政治学』（ともに有斐閣）を挙げておくが、購入する必要はない。	

授業科目名 法学入門(夜間主コース) Introduction to Jurisprudence	時間割 6月13日(木)～ 8月 1日(木) 毎週木曜日 18時00分～19時30分、 19時40分～21時10分 (1日2回、計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
担当教員名 佐川 友佳子(法学部)	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習	
授業の概要 我々は、社会の中で、つまり、他者との関わりの中で生きています。様々な考えや価値観を持つ人々が共に暮らして行くためには、一定のルールが必要とされます。法はそのようなルールの中でも、非常に大きな効果を有するもので、我々は、意識しないところでもその影響の下に生活しているのです。この講義では、具体的な事例を通して、法についての理解を深めることを目的とします。そして、実際に争い事や事件が生じた場合にはどのような手続きに従って解決が図られるのかについても学ぶ予定です。	
授業の目的 次の2点を目標とします ①法とは何か、そして具体的にどのような効果を有するものかを理解し、裁判手続き等についても知識を深める。 ②日常的な問題を法的観点から考察できるようにする。	
到達目標	
①法とは何か、そして具体的にどのような効果を有するものかを理解することができる。 ②日常的な問題を法的観点から考察できるようにする。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
基本的に講義形式で行う予定です。 1 ガイダンス 2 法とは 3 刑法の基礎(1) 4 刑法の基礎(2) 5 刑事訴訟法の基礎(1) 6 刑事訴訟法の基礎(2) 7 不法行為と法(1) 8 不法行為と法(2) 9 契約と法(1) 10 契約と法(2) 11 家族と法(1) 12 家族と法(2) 13 国家と法 14 人権 15 レポート課題(予定)	
教科書・参考書等 松井茂記・曾野 裕夫・松宮孝明 著『はじめての法律学— HとJの物語 第3版補訂版 』有斐閣、 六法(岩波セレクト六法、コンパクト六法など、小さいもので結構です)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 六法を必ず持ってきてください。	

授業科目名 政治学原論 Political Science	時間割 4月12日(金)～ 7月26日(金)
担当教員名 大賀 睦夫(経済学部)	毎週金曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習	
授業の概要 学生諸君に政治学の基礎理論を理解してもらうことを目標にしています。ただし、「真であって、かつ自明ではない法則や命題に乏しい」のが政治学です。ですから、具体的事例をとおして理論を学ばなければ生きた知識になりません。授業では可能な限り、具体的事例を取り上げて考察します。政治的な問題を扱ったビデオもできるだけ使用します。	
授業の目的 政治を紛争解決の仕事と広く解釈すると、政治問題はいたるところに存在します。政治問題に直面したときに、適切な対応が取れるかどうかは、個人にとっても社会にとっても非常に重要なことです。この授業では、政治問題を政治学的方法によって分析する能力を養います。これによって、政治問題の本質が理解できるようになると思います。	
到達目標	
1. 政治問題に関心がもてるようになる。 2. 政治に科学的考察を加えることができる。 3. 市民としての自覚をもてるようになる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
毎回、政治学の重要なテーマを一つ取り上げて、それに関連した事例を紹介し、理論的問題を解説します。毎回ハンドアウトを配布します。 (1) 導入 (2) 政治とはなにか (3) 状況・制度・組織 (4) 象徴としての事件(1) (5) 同上(2) (6) 政治文化(1) (7) 同上(2) (8) アノミーと政治(1) (9) 同上(2) (10) 権力論(1) (11) 同上(2) (12) 同上(3) (13) 政治体制(1) (14) 同上(2) (15) まとめ	
教科書・参考書等 教科書は使用しない。 推薦図書は、永井陽之助・篠原一『現代政治学入門』有斐閣、1984。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 時間厳守。授業開始から15分経過後は入室できない(ドアをロックします)。	

授業科目名 経済数学 Mathematics for Economics	時間割 4月11日(木)～ 7月25日(木)
担当教員名 ラナデ(経済学部)	毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習	
授業の概要 経済学ではツールとして数学が積極的に活用されています。しかしこの点が経済学を学習する際の障害になる場合も多いようです。そこでこの講義では、経済学を学習するための数学的トレーニングとして線形代数の基本的内容を、経済学における活用例を素材に学びます。 高校数学の復習から始め、経済学では数学をどのように使うのかを例を交えながら解説します。	
授業の目的 1. 線形代数の基本的内容の学習を通じて、経済学における記号・数式・グラフの使い方を身につけること。 2. 数学への苦手意識がある人は、それを解消すること。	
到達目標	
1. 直線について問題をとける。 2. 行列を専門的につかえる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
授業は主に板書によります。宿題&class-workとして演習問題を課します。 予習は不要ですが、毎回復習してわからないことをなくすことと、演習問題を解くことが必要です 1. 産業連関表 (2回) 2. ベクトルと行列 (4回) 3. 逆行列と連立方程式 (4回) 4. 行列の固有値 (3回) 5. 行列ゲームと線形計画法 (2回) 6. まとめ (1回) 進行状況により、変更をする可能性があります	
教科書・参考書等 教科書使用しませんが、参考書は以下のとおりです。 石村園子(2000)『やさしく学べる線形代数』 共立出版。 その他参考書については開講時に紹介します。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 履修上の注意は初回授業で説明します。	

授業科目名 会計学（夜間主コース） Introduction to Accounting	時間割 4月 9日（火）～ 6月 4日（火） 毎週火曜日 18時00分～19時30分、 19時40分～21時10分 (1日2回、計15回) ※ 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に研究交流棟1階（15ページ参照）にお越しください。
担当教員名 朴 恩芝（経済学部）	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習	
授業の概要 初学者を対象に複式簿記の基本的な原理について説明します。本講義は、他の会計関連の授業の基礎となるものがあります。	
授業の目的 (1) 複式簿記の基本的な原理を理解します。 (2) 日商簿記検定3級レベルの基礎知識を身につけます。	
到達目標 (1) 企業の会計情報作成の仕組みを知ることができます。 (2) 企業を代表とする組織の経済活動がどのように情報として作り上げられ、利用されるかを知ることができます。	
授業計画並びに授業及び学習の方法 随時練習問題を解いてもらいます。 また、毎回練習問題を解いたり、宿題を通じて学習内容を確認したりします。 第1回 簿記の目的と種類 第2回～第3回 簿記の基礎概念、取引 第4回～第7回 簿記の仕組み 第8回 中間総括 第9回～第12回 取引の記帳 第13回～第15回 決算	
教科書・参考書等 新検定簿記講義 3級商業簿記、渡部 裕亘、北村 敬子、片山 覚、中央経済社、735円、	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 簿記は繰り返し練習することが大切です。毎回宿題がありますので、その都度しっかり復習してください。	

平成25年度行事予定表 (昼間)

第1学期

第2学期

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
4月	1	第1学期開始	2	3	4	入学式がたいんす (毎年4/4)	5	新入生がたいんす	6	新入外国人 留学生ガイダンス	10月	1	第2学期開始 大学記念日	2	授業開始	3	4	5	新入外国人 留学生ガイダンス
7	8	定期健康診断・ 新入生修学相談会	9	授業開始	10	11	12	新入生歓迎 祭	13		6	7	8	9	10	11	12		
14	15		16	17	18	19	20				13	14	15	16	17	18	19		
21	22		23	24	25	26	27				20	21	22	23	24	25	26		
28	29		30	1	振替授業(月)	2	3	4			27	28	29	30	振替授業(金)	31	1	前夜祭(臨時休業)	2
5月	6	7	8	9	振替授業(月)	10	11				8	9	4	大学祭 蔵取日	5	6	7	8	9
12	13		14	15	16	17	18				15	16	17	18	19	20	21	22	23
19	20		21	22	23	24	25				22	23	24	25	26	27	28	29	30
26	27		28	29	30	31	1				29	30	1	2	3	4	5	6	7
6月	2	3	4	5	6	7	8				12月	1	2	3	4	5	6	7	
9	10		11	12	13	14	15				8	9	10	11	12	13	14		
16	17		18	19	20	21	22				15	16	17	18	19	20	21	22	
23	24		25	26	27	28	29				22	23	24	振替授業(月)	25	冬季休業 ～1/7	26	27	28
30	1	2	3	4	5	6	7				29	30	31	1	2	3	4		
7月	7	8	9	10	11	12	13				1	2	3	4	5	6	7	8	
14	15		16	振替授業(月)	17	18	19				12	13	14	15	振替授業(月)	16	17	会場設 置(臨時休業)	18
21	22		23	24	25	26	27				19	20	21	22	23	24	25		
28	29		30	31	1	2	3				26	27	28	29	30	31	1		
8月	4	5	6	夏季休業 ～9/30	7	8	オープンキャン パス	9	10		2月	2	3	4	5	6	7	8	
11	12		13		14	15	16				9	10	11	12	13	振替試験 (火)	14	15	
18	19		20		21	22	23				16	17			第2学期末 試験	19	20	21	22
25	26		27		28	29	30				23	24			授業・定期試験 予備日	26	27	28	29
9月	1	2	3	4	5	6	7				2	3	4	5	6	7	8	9	
8	9		10	11	12	13	14				9	10	11	12	13	14	15	16	
15	16		17	18	19	20	21				16	17	18	19	20	21	22	23	
22	23		24	25	26	27	28				23	24	25	26	27	28	29	30	
29	30	第1学期終了									30	31	第2学期終了						

平成25年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

第1学期

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4月		1 第1学期開始	2	3	4 入学式・ガイダンス (毎年4/4)	5 新入生ガイダンス	6 新入生歓迎祭	10月		1 大学記念日	2 授業開始	3	4	5 新入外国人 留学生ガイダンス
7		8 定期健康診断・ 新入生修学相談会	9 授業開始	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12
14		15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17 振替授業(月)	18	19
21		22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26
28		29	30 振替授業(金)	1 振替授業(月)	2 履修登録取消申請期間	3	4	27	28	29	30	31	1 前夜祭(臨時休業)	2
5月	5	6	7	8	9 振替授業(月)	10	11	11月	3	4 大学祭開校日	5	6 振替授業(月)	7	8
12		13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19		20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26		27	28	29	30	31	1	24	25	26	27	28	29	30
6月	2	3	4	5	6	7	8	12月	1	2	3	4	5	6
9		10	11	12	13	14	15	8	9	10	11	12	13	14
16		17	18	19	20	21	22	15	16	17	18	19	20	21
23		24	25	26	27	28	29	22	23	24 振替授業(月)	25 冬季休業～1/7	26	27	28
30		1	2	3	4	5	6	29	30	31	1	2	3	4
7月	7	8	9	10	11	12	13	1月	5	6	7	8	9	10
14		15	16	17	18	19 振替授業(月)	20	12	13	14	15 振替授業(金)	16	17 金場設置(臨時休業)	18
21		22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28		29	30	31	1	2	3	26	27	28	29	30	31	1
8月	4	5	6 夏季休業～9/30	7	8 オープンキャンパス	9	10	2月	2	3	4	5	6	7
11		12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13 振替試験(火)	14	15
18		19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25		26	27	28	29	30	31	23	24 入試会場設置	25	26	27	28	1
9月	1	2	3	4	5	6	7	2	3	4	5	6	7	8
8		9	10	11	12	13	14	9	10	11 春期休業～3/31	12	13	14	15
15		16	17	18	19	20	21	16	17	18	19	20	21	22
22		23	24	25	26	27	28	23	24 卒業式 (学生3/24)	25	26	27	28	29
29		30 第1学期終了						30	31 第2学期終了					

香川大学幸町キャンパス

紫雲中学校

幸町北キャンパス

運動場

ハンド
ボール場

第2体育館

バス停
官能町

弓道場

法学部・経済学部
法学部・経済学部
法学部・経済学部
法学部・経済学部

経済学部門

武道場

第1体育館

図書館

大学会館
(学生食堂)

大学本部

教育学部門

教育学部
学務係

駐車場

研究交流棟
学務グループ

入口

受講初日集合場所

テニスコート

幸町南キャンパス

プール

高松市立図書館

コンビニ

うどん店

バス停
幸町

← この建物の1階に
お集まりください。



高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受 講 生 氏 名	
受 講 生 電 話 番 号	
受講生メールアドレス	
保 護 者 氏 名	
保 護 者 連 絡 先	

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。（公開授業は1科目につき2,300円。体験授業は無料。）

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。